

平成15年度新規箇所 評価結果

事業名	平和通り一番街地区第一種市街地再開発事業	都市名	米沢市
施行者	平和通り一番街地区市街地再開発組合	施行面積	1.7ha

事業の概要
本市の中心市街地を象徴するにぎわい交流拠点として位置づけ、人々が常に集い楽しみ憩う都市空間として再生させるべき地区として1.7haを再開発するものである。

目的・必要性
駐車場を併設した商業ビルを建設することにより、本市の中心市街地を活性化するとともに、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るものである。

費用便益比(B/C)	2.89	費用	62億円	うち施設整備費等	40億円	うち用地費	22億円
基準年	平成14年	便益	180億円	うち区域内	84億円	うち区域外	97億円

効果等
費用便益比は、2.89という値が算出されており、効率性の高い事業である。これは、商業施設の整備や道路、駐車場の公共施設の整備により、当地区及び周辺地域の利便性が向上が期待できる。

関係自治体等の意見
商業施設整備と伴に 公共施設（道路・駐車場）の整備により、効率性の高い事業と認識している。

